

北海道新聞

2006年
7月1日

発行所
北海道新聞社
〒060-8711
札幌市中央区大通西3丁目6
電話 011(221)2111

NIE推進センター
電話 011-210-5802
ホームページ
www.doshin-nie.com

フムフム館
〒061-1274
北広島市大曲工業団地8-2-1
電話 011(370)3737

函館でセミナー 熱い討論

3教諭が実践報告

北海道NIE推進協議会(会長・山田家正小樽商大名誉教授)主催の第5回NIE函館セミナーが1日、道南の小中学校、高校の教諭ら約20

広げよう NIEの輪



授業の進め方などをめぐり提言が行われた実践報告

人が参加して北海道新聞函館支社で開かれた。実践発表の後、新聞を活用した授業を通じて子供たちの表現力や社会的な関心をいかに育て、

伸ばすかをめぐり意見交換した。実践発表者は函館市立中部小の石井望教諭、同般法華中の金子賢教諭、七飯高の高瀬容子教諭の3人。

発表では、函館大火(1934年)当時の新聞記事や働く女性について取り上げた連載記事を使った授業例、新聞記事を素材にした1分間スピーチ実践などが紹介され、その工夫ぶりが注目された。



実践発表者から一言

記事の背景を学ぶ



函館・中部小
石井 望教諭

常に新しい情報を私たちに伝えてくれる新聞。しかし、昔の新聞も、「昔の新しい

情報」を子どもたちに伝える重要な手がかりとなりました。記事が書かれた歴史的背景を学び、記事を読んだ当時の人々の心情を考える学習を、今度は現代版で：今の新聞でも挑戦していきたいと考えています。

幅広い分野で活用



函館・般法華中
金子 賢教諭

この度はNIEの実践校に認定していただき、大変喜んでおります。新聞は、

国語科・社会科を中心に道徳や総合的な学習の時間まで幅広く活用できるうえに、各家庭にふつうにあるものです。せっかくいただいた機会ですので、子どもたちのためになるよう、全職員挙げて取り組んでゆきたいと思っています。

規模考え取り組み



七飯高校
高瀬容子教諭

私の定番の取り組みは、生徒の家庭や学校の職員室の「おさがり」の新聞でも実

施可能なので、新聞購読料の助成を求める狭い意味でのNIEではありません。この取り組みは「文章表現」を目的とし、個別指導の割合が多く、全校規模や学年全体の規模になると手が回らなくなるので、「こじんまり」とした取り組みであることを心がけています。

北海道NIE推進協議会(事務局・北海道新聞社)は道内の新聞社、通信社計12社と道教委、札幌市教委で構成されています。毎年春に総会・実践報告会、秋に研究会を開くほか、函館、旭川など7カ所前後で地区セミナー

北海道はNIE王国

北海道NIE推進協議会(事務局・北海道新聞社)は道内の新聞社、通信社計12社と道教委、札幌市教委で構成されています。毎年春に総会・実践報告会、秋に研究会を開くほか、函館、旭川など7カ所前後で地区セミナーも行っていきます。本道の昨年度の実践校は、小中高に予定される追加分を合わせると43校になる見込みで、過去最多、全国でも一番多くなります。まさに北海道は「NIE王国」。

メニューいろいろ

毎月最終月曜の北に立つ紙面を目指し
北海道新聞朝刊教育面で行っています。

はNIE関連の記事 これまでに、自治体
だけをまとめた見聞合併や「命」の問題を
きの「NIEワイド」 臓器移植の面から考
紙面。

新聞を活用し
た全道各地の教
育実践を紹介す
るとともに、N
IE普及のため
開いた座談会や
フォーラムなど
の内容紹介を通
じて、NIE実
践者、あるいは
これから取り組
もうという先生
たちにとって役

道内各地の実践紹介

このほか高校生
の世相漫画投稿欄
「高校生eyes」
や、小中学生が記事
を読んで感じたこ
となどを投稿する
「僕の私の切り抜
き帳」など、児童・
生徒にも親しめる
紙面となっています。

教育面「NIEワイド」



記者が出前講座

子供たちにも
つと新聞に親し
んでもらうため、
北海道新聞社は
学校に新聞記者
を派遣する出前
講座を行っています。

テーマは新聞
づくりやハンセ
ン病問題、捕鯨
と食文化などさ
まざまです。

新聞づくりが

テーマの時は生徒がちにとつては実際に
模擬インタビューを現場で取材している
したり、記事を読んで記者から直接話を聞
き出しをつけるなどける貴重な体験の場
の体験学習、福祉がテです。

取材現場の生の声を

テーマなら生徒た
ちに視野が狭く
て見づらくなる
眼鏡をかけて歩
いてもらい、お年
寄りの気持ちを
理解してもらう
など、工夫を凝ら
したメニューで
行います。

記者が活躍し
た話ばかりでな
く失敗談も飛び
出します。子供た

北海道新聞が毎週
土曜日に発行してい
る夕刊別刷り「大図
解」のキャッチフレー
ズは「学校の教材に役
立つ」。2003
年5月の掲載開
始以来、日本と
世界のさまざま
な問題や歴史な
どを取り上げ、
授業で活用して
いただいています。

学校の教材に役立つ

北海道に關連し
たテーマのものは
今後、さらに増やし
ていく予定です。反
対面の見聞「道新
小学生新聞」フム
ム」とともに、ご利
用ください。



夕刊別刷り「大図解」

みらい君の広場

小中学生、高
校生が自分たち
の思いを文章で
表現する場、そ
れが朝刊の投稿
欄「みらい君の
広場」です。

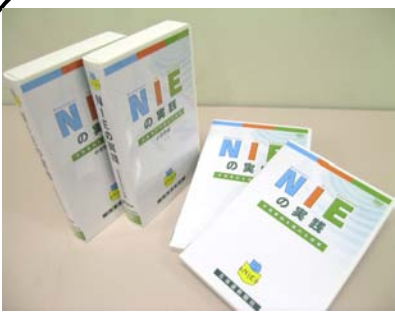
子供たちの息遣い

週2回で、木
曜はテーマ編、
日曜は自由な投
稿を掲載してい
ます。
投稿数は月間
2百通から3百通に
いが感じられます。

NIE実践ビデオ

授業を収録

これからNIEを
始めようという先生、
あるいはさらに充実
させたいという先生
にとって強い味方と
なるのが北海道新聞
社製作のNIE実践
ビデオです。



小中学校4校で撮
影したモデル授業を
収録しています。
DVDとビデオテ
ープとがあります。先
生たちの実践交流会
などで上映するほか、
貸し出しも行ってい
ます。

道新のNIE活動